

リスクアセスメント各種

ISO14001 , JIS Q 2001 , OHSAS18001,

ISO27001 , ISO13485/14971

1. ISO14001 環境影響評価

① 環境側面の意図 (1)

「管理できる環境側面」 = コントロールできる = 直接

「影響を及ぼすことができる環境側面」 = インフルエンスできる = 間接

—例—

事務用紙 : 使用 (管理できる環境側面) 購入 (影響を及ぼすことができる環境側面)

電気(電力) : 使用 供給先

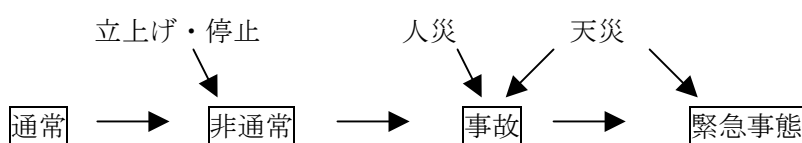
廃棄物 : 排出・保管 処理委託

製品設計 : 環境配慮設計 製品の使用・廃棄

② 環境側面の意図 (2) A. 1 初期レビュー

「通常 (定常) と非通常 (非定常、異常)」 = ノーマルとアブノーマル

「緊急と事故」 = エマージェンシーとアクシデント



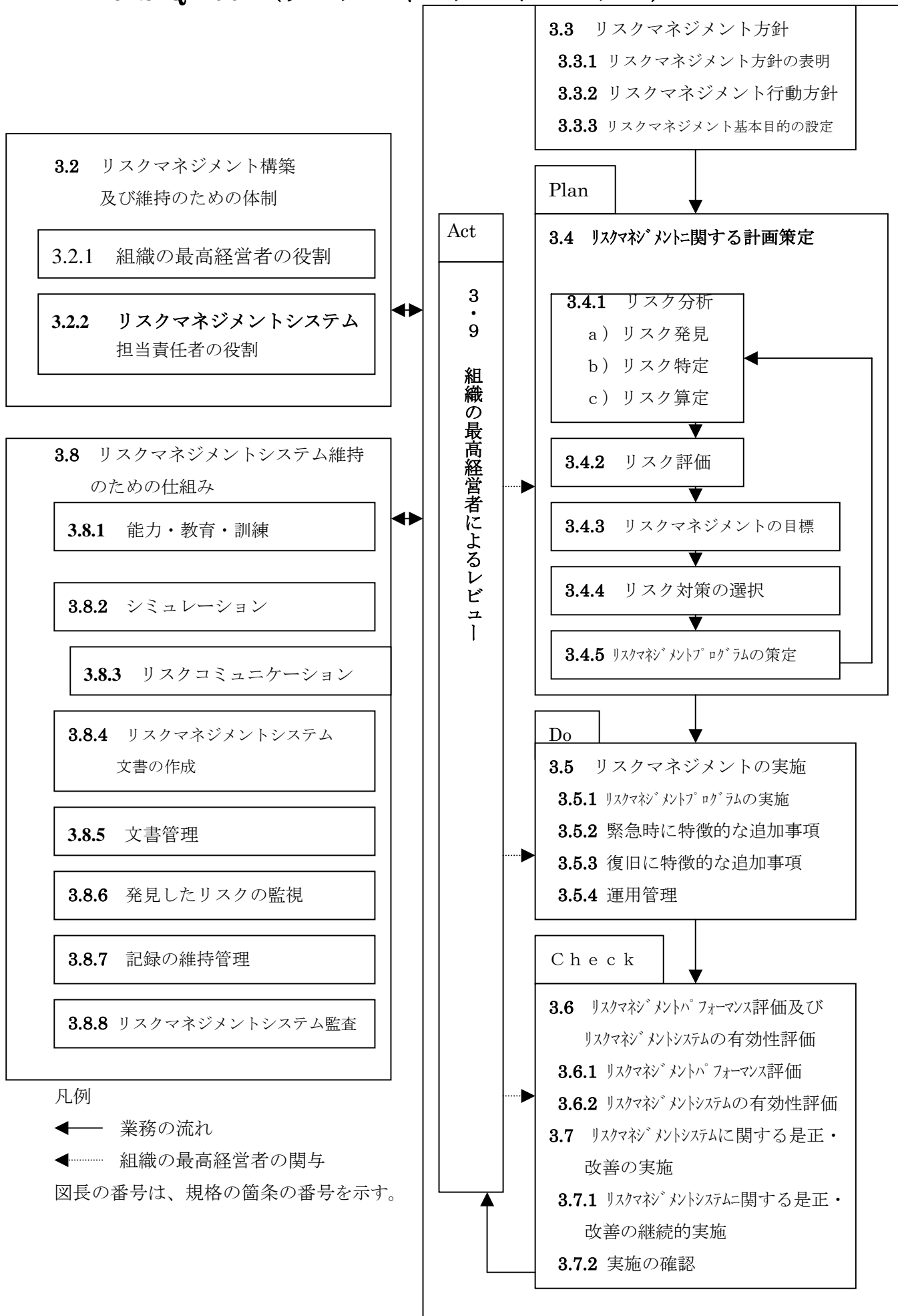
③ 環境側面の意図 (3) 14004の4.3.1.4

「有害な (好ましくない) 環境影響」と「有益な (好ましい) 環境影響」

「顕在化した環境影響」と「潜在的な環境影響」

「影響を及ぼすことができる環境側面」 ≠ 「有益な (好ましい) 環境影響」

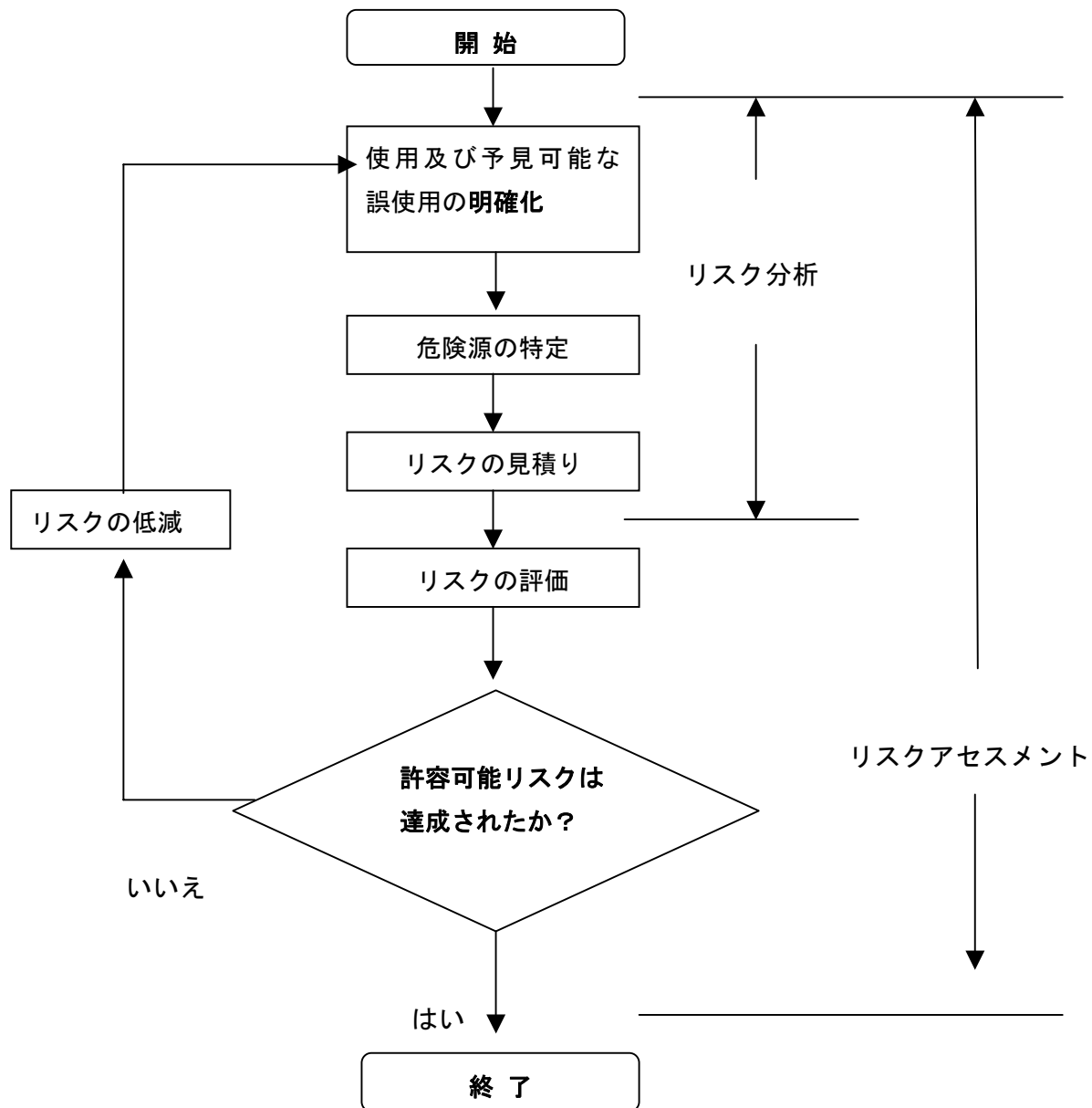
2. JIS Q 2001 (リスクマネジメントシステム)



3. 労働安全衛生ハザードとリスク評価

OHSAS180001

リスクアセスメントの手順



1) 危険源 (ハザード) の特定

危険源リスト

考慮すべき危険源として次のようなものが考えられる。

墜落・転落、転倒 (滑り・転び)、 激突、飛来・落下、崩壊・倒壊 挟まれ・巻き込まれ、切れ・擦れ、踏み抜き、溺れ、 高温・低温との接触、有害物との接触・曝露・吸引、感電、爆発・破裂 火災、交通事故 粉じん障害、有機溶剤中毒、酸素欠乏、放射線被爆 騒音、振動、照明、VDT (パソコン等：電磁波) 疲労・ストレス、暴力、セクハラ、感染症 など
--

2) リスク見積り

リスクを見積もり評価する必要がある。

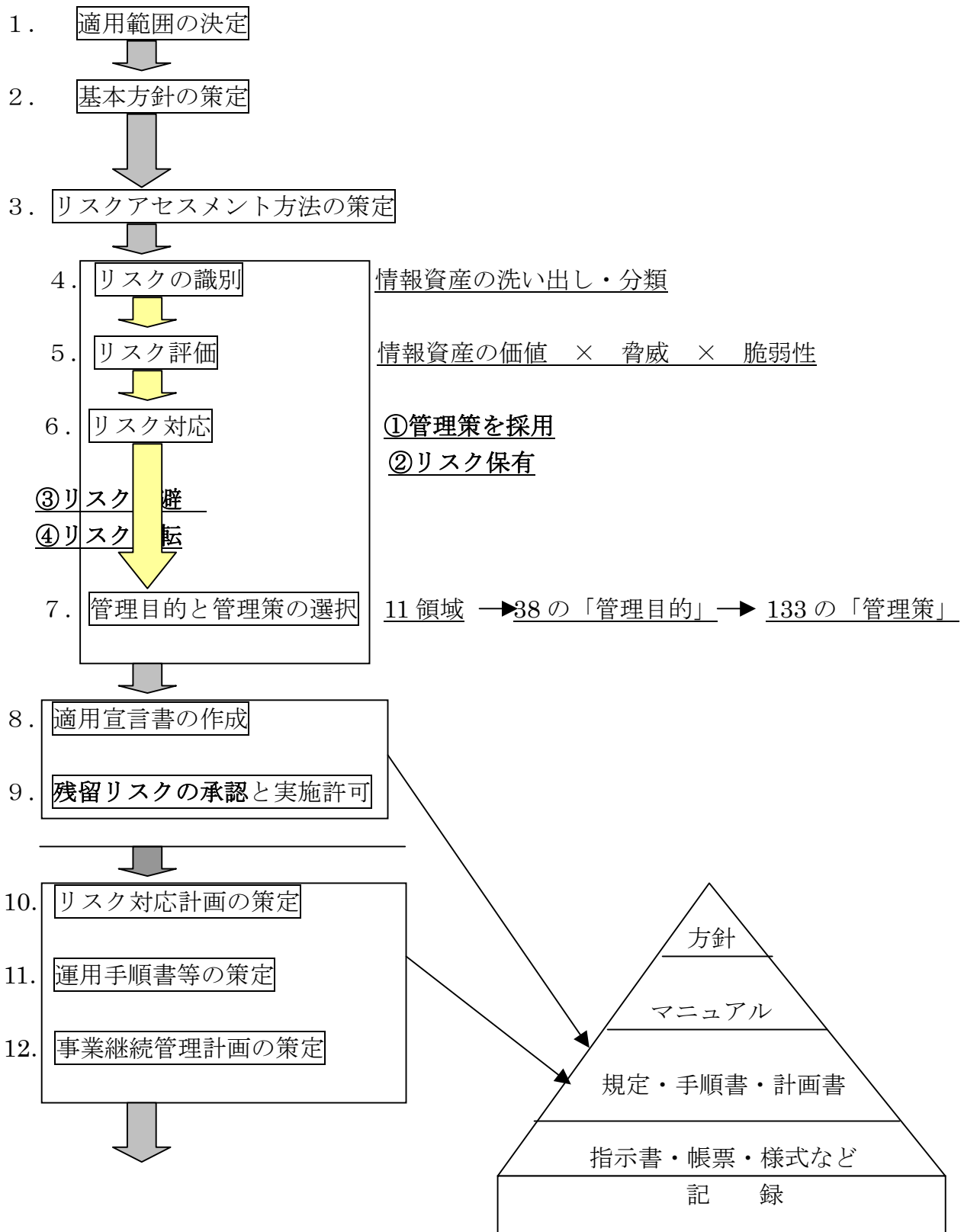
危険の頻度 (作業の頻度ではない)	日常	日	週	月	年	数十年
ケガの可能性	高い	ある	低い	ない		
重大性	重大災害 (死亡・後遺症 7 級以上) 重傷 (入院・休業・後遺症 8 級以下) 軽傷 (不休業災害) 微傷 (赤チン災害)					

3) リスク評価とコントロール計画

リスクを評価し、コントロール計画を策定し、許容可能か否か決定する。

リスクレベル	措置及びタイムスケール
些細	措置不要、文書・記録も不要
許容可能	追加対策不要、点検は必要
中程度	追加対策を予算・効果を見ながら実施する、点検・監視が必要
重大	追加対策を早急 to 実施する、定期的点検、定常的な監視・記録必要
耐えられない	業務の速やかな禁止・停止

4. ISO27001(情報セキュリティ)のリスクマネジメント



5. ISO13485(医療機器の品質)・14971 のリスクマネジメント

医療機器の安全性に影響するリスク分析・評価し、コントロールする手段を選択、実行する。
また、残留するリスクを認識し、受容する。適切に見直しを行う。

